

郷土の誇り

東京美幌会 会長 八嶋 忠雄

今年の2月、3月はロシアのソチで開催された冬季オリンピック、パラリンピックの話題で持ち切りでしたが、われらが郷土、美幌町からもオリンピックに3名、パラリンピックに1名の選手が出場しました。

クロスカントリースキーの石田正子選手、バイアスロンの鈴木李奈選手、スピードスケートの藤村祥子選手、そしてパラリンピックではバイアスロンの7・5kmシッティングシヨートで銅メダルを獲得した久保恒造選手です。

人口2万1000人の町からオリンピック、パラリンピックに4人もの選手が出場したのは快挙であり、郷土の誇りであるだけでなく、多くの町民、特に次代を担う若者達に夢と希望を与えてくれました。

私は4月5日に開催されました第33回東京美幌会の総会で、来賓としてお招きした土谷町長に2020年の東京オリンピックに向けて、是非とも青少年のスポーツ振興、選手育成に力を注いで欲しいと要望しました。

そして6年後の2020年4月に開催される東京美幌会総会が美幌から出場するオリンピック選手の「壮行会」になることを夢見ています、と挨拶しました。



銅メダル 久保恒造選手

4月12日付の『美幌新聞』にも総会の様子が掲載されましたのでご紹介します。

「東京美幌会第33回総会・懇親会が4月5日、アルカディア市ヶ谷で開かれた。美幌町から土谷町長らが出席、集まった114人がふるさとの話題で一日を楽しんだ。

ソチオリンピックのクロスカントリースキーに出場した石田正子選手も駆けつけて応援に感謝した。

八嶋会長は「オリンピック・パラリンピックに4人もの選手が出場するのは素晴らしい、郷土の誇り。身近に観戦させてもらった。2020年の東京オリンピックでは東京美幌会総会が美幌出身選手の壮行会を兼ねたものにし、沿道で応援する夢と希望を持っている。町も選手の育成に務めてほしい」とあいさつした。

土谷町長は「大雪警報の美幌町を出てきて、こちらは桜吹雪。八嶋会長からプレッシャーをいただいたので子供たちが頑張れる環境づくりに努める。美幌町を愛する皆さんが他に誇れるまちづくりを進めたい」と述べた。

ニュース 東京砂川会発足30周年

1984年に発足された東京砂川会は今年で30周年を迎えます。11月12日に東京で行われる東京砂川会総会では30周年を記念し、記念DVDを放映するなどして今と昔の砂川市を会員の方々にご覧になっていただく予定です。若かりし頃を過ごした砂川市を懐かしんでいただき、そしてこれからの砂川市を見守っていただけだからと考えています。



♪ 初めて出逢った味わいミルク ♪

「雪ミルク」は、粉雪のようにさらさらとした飲み口に、
ミルクならではのコクと香りを持つ、
澄んだ、きめ細やかな味のミルクです。
リラックスしたいとき、ゆったりミルクを味わいたいときに、
「雪ミルク」は賢かなひとときをお届けします。

澄んだ、きめ細やかな味の秘密は、
〈シルキーミルク製法〉

